



THEY'S MEN'S CLUB OF FUJI-GOKO

創 立 2003年3月12日 3041-1, UCHINO, OSHINO-MURA,
MINAMITSURU-GUN, YAMANASHI-KEN,
チャーターナイト 2003年5月10日 PHONE 0555-84-4233

2014年 富士五湖クラブ 3月プリテン 第113号

会長	須藤 繁
副会長	後藤明久
副会長	原 俊彦
書記	後藤昭子
会計	武藤五子
会計	望月喜代子
直前会長	望月 勉

国際会長：Poul V. Thomsen (デンマーク)

主題：「全ての世界に出て行こう」

アジア地域会長：岡野泰和 (大阪土佐堀)

主題：「未来を始めよう、今すぐに」

東日本区理事：渡辺喜代美

主題：「いざ立て」

あずさ部長：藤江喜美子

「心ひとつに、あずさ部号前進」

富士五湖クラブ会長：須藤 繁

『喜ぶ者と共に喜び、泣くものと共に泣こう。』

3月第1例会

2014年3月4日 PM7時～

於：青少年センター赤い屋根

- 1、開会点鐘
- 2、ワイズソング&ワイズの信条
- 3、会長あいさつ
- 4、諸報告
食事
- 5、卓話 「イタリアのおいしい話」
- 6、YMCAのうた
- 7、閉会点鐘

今月のハッピーバースデーとアニバーサリー

メン 原 俊彦さん (3月21日)

メネット 武藤敏彦さん (3月24日)

今月のアニバーサリー

☆ 三浦洋美&正夫夫妻 (3月17日)

☆ 望月 勉&喜代子夫妻 (3月28日)

おめでとうございます！

2月のデータ

会員数	14名
例会出席	11名
例会出席率	79%
ニコニコBOX 累計	10,909円



忍野より富士を望む

2014年2月TOF例会報告

2014年2月28日(金)午後7時～9時30分

場所；富士吉田市ふれあいセンター

参加者；須藤、原 2、望月 2、後藤 2、茅野、三浦、武藤+まきちゃん

TOF例会と云うことで、最初に会長あいさつと食前感謝のあと、雑談しながらお弁当を食べて例会がはじまった。

話しは、先日の大雪での出来事が多く、家から出られない人、雪かきに追われた人、県外から帰れなかった人、いかに大変だったか、皆が大変な重言わしたことが判明。ブリテンに特集『あの大雪の時、あなたは・・・？』を組むことに決定した。

議事；①次年度のクラブ役員構成について

次年度は望月あずさ部長年度になるので、そのバックアップもしながら、クラブ内役員も例年のように兼任することになった。

クラブ内；副会長>原、小池。BF/TOF> 石田

②山中湖センターへの寄付記念でレンガへのメッセージを決めた。シンプルに名前とチャーター年とした。事務局で東京YMCAにFAXする。

③あずさ部評議会報告；茅野さんが担当して会長と共に仕上げる。

④東日本区大会への参加の確認；須藤、原 2、望月 2、後藤 2、茅野、三浦が表明。

事務局でまとめて申込する。宿泊場所を近い所で見つける。

⑤4/20 熱海グローリー30周年祝賀会；

原 2、望月 2 が参加。

⑥3月、4月例会の卓話の確認；3月；志賀先生>原、4月；上文司宮司>望月
ワイズ以外の講師謝礼は5000円とする。ワイズ関係者の場合はお菓子にする。

場所；青少年センター；三浦担当>1人1500円で食事・コーヒー付きで設定。

⑦ブースター申請；会長研修時に持参する。

⑧次年度7月評議会；東京西クラブホスト。新宿プリンスホテル11:00～15:00

大野さん案内で原さんした下見済み。B2Fでビアホールっぽい感じ。望月了承。

通常より時間が30ほど短いので、部役員・会長の報告時間を調整する。

いつもより早く始めたこともあり、スムーズな進行ができた。時間が許せる会員は、サイゼリアで懇親を深めた。お疲れ様でした。

第2回あずさ部評議会

望月勉

2月1日、第2回あずさ部七里岩評議会が、甲府クラブのホストで韮崎市市民交流センターで開催されました。



10:45、藤江あずさ部長の開会点鐘で始まり、甲府クラブピーターマウントフォード会長歓迎の挨拶、評議会成立宣言、次期あずさ部役員承認の件、CS助成金配分の件と進み、各事業主査、クラブ会長の報告があり、懇親会が12:30から同じ場所で始まりました。甲府クラブ石川博さんの、七里岩と韮崎歴史紹介の話を聞きながら食事をとりました。富士五湖クラブからは須藤会長以下、後藤夫妻、原夫妻、長田さん、茅野さん、望月2名の計9名もの参加がありました。これはホストクラブの甲府クラブに次いで2番目の参加人数でした。他クラブに富士五湖クラブの元気さをアピールした評議会でした。

あの大雪の時に私は・・・

2月14日～15日にかけての大雪の日にメンバーはそれぞれに・・・忘れられない記憶として綴ってみました。

須藤 繁メンは・・・

大雪の恵み

あの大雪を思い出すと、このタイトルだけで怒られそうですが、きっと他の方は大雪に苦労されたこととお書きになるだろうと予想して、あえて別路線を選んでみました。

1 大雪はすべてを覆い尽くした。

朝起きて4階の窓から見た街は、すべて純白の分厚い雪に覆われて、車もどこにあるのか見当がつかなかった。今も目に焼き付いているのは、見えるもの全てが雪でゆるい曲線の中に包

み込まれている風景。静かで平和であった。

2 大雪は休息を準備してくれた。

4日かかって車を掘り出し、5日目は1日寝ていた。その後も数日は仕事をみなキャンセルし、久しぶりに体を休めることができた。

3 大雪はボランティア精神を見せてくれた。

あちこちの国道などで多くの車が閉じ込められた。その時、沿道の人々が当然のように炊き出しをしたり、宿を提供したニュースがあった。3・11以来、このような力まないボランティア精神が見られるようになったことが嬉しい。

4 大雪は子供に遊び場を提供した。

1週間後、やっと大家が雪をブルで掻いてくれた。その雪は持っていくところがないので、少しでも空いたスペースに高く積まれた。私の来客用の駐車スペースも3メートルぐらいの雪で埋まったが、子供がこれに目を付けない筈がなく、以来遊園地と化した。

5 大雪は富士吉田市の人口を増やしてくれた（と思う）。

このことは説明はிரらない（と思う）。

三浦洋美メンは・・・

毎年大雪になるという予報であっても富士山のふもとに住む私にとってはいつもの予報という感じにとらえ、15日（土）16日（日）に京都で行われる研修会に向け14日（金）に障害のある娘を南アルプス市にある入所施設に預け小雪の降る中、新富士駅まで自家用車そ

こから新幹線で優雅な気分京都に出掛けて行きました。

15日の夕方になり、自宅や入所施設から大変な事態との連絡16日の研修を早めに切り上げ

少しでも早く自宅にと思い京都を後にしました。新富士についたのはいいのですがそこから帰る道が1つもないこと。17日の夜まで車での生活、家に帰れない為、何とか娘を預けてある施設に向かわなければと必死でした。

17日の夜9:30頃施設に到着遅い時間の為、施設の方が私の休む部屋を用意して下さい、ベットで眠ることができました。

18日中央道が開通しましたが、河口湖に帰れる道はまだ通行止め、相模原インターを降りて、山梨に向かっている途中中国土交通省の方に止められ行き先を告げると御坂が昼に開通したとのこと、再び高速に乗り一宮御坂インターをおり、御坂峠を越え富士河口湖そして自宅と家についたのが15:30。思い出に残る研修でした。

望月 勉メンは・・・

2月15日(土曜日)朝8時、金曜日未明からの雪はまだ降り続けている。既に積雪は135cmを越えて、史上最高を更新し続けている。家の前の道路は完全に雪に覆われ、車の通行は完全にストップしている。雪はやみそうにない。これは大変な事になると思い、息子2人を起こし雪かきを始める。市内全域が完全にマヒしている。

8:40、隣のベランダの屋根が大きな



車庫の雪下ろし・・・

音をたて潰れる。車庫の梁にサポートを立てる。息子2人が車庫の雪を下に降ろし始める。自分の家と隣の家の間の雪を外に排雪するため、軽トラを5人で2時間かかって車庫から出す。AM10時、積雪はついに150cm近くまでとなる。軽トラで近くの間々堀川に20回程度捨てに行く。あちこちで木の枝が裂けている。近くの国道も車の通行はストップしている。テレビでは山梨県の全ての高速道路、主要幹線道が通行止めを伝えている。陸の孤島だ。それから新聞、牛乳は4日間配達されず、スーパーから肉、野菜、パンが完全になくなる。全てが初めての経験だった。あちこちでガレージや車庫が潰れている。150cm雪、これからもう2度とない大雪だろう。1人暮らしの人や知人からSOSの電話が続けてくる。息子2人と隣のおじさんの4人で何軒もの雪かきボランティアに出掛ける。これも初めての事だ。この雪はこれが最後になるのだろうか。150cmの雪を見ながら思う

望月喜代子メンは・・・



望月家の玄関前





スーパーの棚は空っぽ

2月8日～9日にかけて大雪で、富士吉田で70cmぐらい積まりました。私は少しの雪だと雪かきはしませんが、また次の週、14日～15日にかけて、今までにない大雪で1m60cm積もり、14日夜に玄関のドアを開けてみたら、すぐそこまで雪があり、このままだと明日になればドアも開かないので、主人に雪かきをした方がいいと伝え、息子2人と隣の親子2人で家と家の間を雪かきを始め、私がちりとりで雪をかいていたら、主人が、いいから家に入れ、と言われたけれど、ちりとりでかき続けました。次の日の朝に外を見たら昨日かいた以上に積もっていてびっくり。車も人も一切通る事が出来ません。また昨日のみんなで雪かき雪かきの毎日、ちりとりでも雪かきは出来ます。普段はあまり人は歩いてはいませんが、みんなスコップを担いで歩き、買い物などをしていました。スーパーには、お肉はからっぽ、牛乳、パン、カップ麺、野菜などありませんでした。異様な感じでした。

露木淳司総主事は・・・

「27時間かかって自宅へ」

14日は、全国YMCA総主事会議のあと、横浜北YMCAに用事があり、その後17時頃家路につきました。既に横浜周辺も大雪で横浜線の菊名駅をかなり遅れてやってきた超満員の電車に揺られて八王子まで向かいました。その日人身事故

の影響で昼から大幅にダイヤが乱れていた中央線でしたが、奇跡的にやってきた「かいじ」に喜んで乗り込みました。降りしきる雪の影響で不定期に停車しながらも酒折駅までやって来ました。しかし、その後全く動かなくなり、ホームには窓枠より高く雪が積もり始めていました。停電もあり一時トイレも使えなくなるという状況の中、翌朝7時まで車内で待ちましたが、意を決して電車を降り、YMCAまで歩きました。土曜日ということでYMCAは休み、四駆の公用車で自宅まで帰ろうとしましたがあたり一面1メートルの積雪。唯一除雪の入っている城東通りまで約300m、一人スコップで道をかきかき約6時間、車をなんとか移動させました。さて今度は牧丘まで約2時間、根性で車を走らせ、最後は標高差400メートル、距離にして3kmの牧丘の巨峰の丘を歩いて登りました。最後の500mは踏み跡が全くなく太ももまで埋まる新雪の中をラッセル。遭難寸前と思いきや、長男が道を作ってくれて、次男が懐中電灯と飲み物と手袋を持って迎えに降りてきてくれました。家族の愛に包まれて感動のフィナーレ。空にはLEDライトのように明るい満月。遠く塩山の街の夜景もとっても美しかったです。夜8時半、自宅についた時は横浜を出て27時間が経過していました。

茅野信雄メンは・・・

2月13日、明日からの雪の予報に、吉田のビジネスホテルに宿泊をし、14日の朝を迎える。しかし、その時点ではそれほど積もっている訳ではなく、少し肩

すかし気味。でも午後になり、様子は一変、女性社員には早退者も。残業を3時間で切り上げて駐車場へ向うも、その道は遭難しそうな程の雪。案の定、車は雪山の状態でも走れる状況に無いことが判明。すぐにあきらめて会社の宿泊施設に向かう。途中には帰宅しようとする社員の車が渋滞している。何とか宿泊施設に着くと、一緒にいた同僚分も含めて2部屋が残っているのみ。会社は17、18日は臨時休業となるも、車が動けず、着の身着のまま。村中を歩き、往復1時間以上かけて下着を調達し、次の日も同じように1時間以上かけて常用薬を処方してもらおう。食事は1日目はコンビニに残っていた弁当・カップラーメン、2日以降は会社で用意してもらおう。家に帰ったのは21日の夜、実に8泊9日の長い一週間でした。

後藤夫妻は・・・

2月14日の午後3時半過ぎに出発し、私たちも得意先からの仕事だったので新潟の十日町まで納品に行ってきました。大雪予報が出ていて心配もあり私も主人に同行した次第です。いつもなら中央道から圏央道から関越道のコースで十日町に向かうのですが圏央道から関越道が既に通行止のため中央道から長野道から上信越道へのコース予定で出発。中央道の須玉インターまで来ると大雪のためその先は通行止。須玉からは一般道を経て上信越道の佐久インターを目指す。目の前は真っ白な世界が広がって、途中で滑って立ち往生している車を追い越しながらなんとか佐久へたどり

着いたものの、インターはまたしても大雪のため通行止。高速を使わない道を検索し直す。

ナビが表示したのは菅平高原の山越えの大笹街道だった。何だかわからないけど行くしかない！主人は車を走らせる。ゲレンデのような真っ白な世界が続く。いったい何処を走っているのだろうか？雪に埋もれて標識も見えない。頼りになるのはナビの表示だけ？

対向車もなければ後続車もない。ひたすら走る！！ガガガ～と目の前に除雪車が現れてほっとする。忍野を出発してから10時間半、無事に納品終了。



十日町の納品を終え

仮眠する宿を探して宿泊。2日目、朝のテレビから流れるニュースを見てびっくり！

「甲府で120センチの積雪を観測」大雪で高速道路も全て通行止に。慌てて長男に電話してみると忍野もスゴイ積雪で玄関から外に出られないというのではないか。

取り急ぎ



後藤家の玄関前

積雪量は180cm?!・・・

自宅に帰

る方向で出発。ネットで情報を確認するが山梨に入る高速も一般道も大雪の影響で全てが通行止。それでも近くまで進もうと車を走らせる。

長野に入るが長野も大雪で道路は大渋滞。あきらめて宿を取る。3日目、今日こそは家に帰れるだろうと出発。長野は除雪も進んでいてスイスイと。しかし、塩尻に近づくころには渋滞の中に…。情報を確認するが高速も一般道も相変わらず通行止。塩尻の健康ランドに宿泊を決める。健康ランドは私たちみたいな帰宅難民？でにぎわっていた。忍野では長男や兄たちが雪かきに大変だろうなと思いつつもどうしようもできない歯がゆさ…。ネットの交通情報とにらめっこ。高速はまっ黒なラインのままで…。

R20も茅野で通行止。R141も雪崩で通行止。テレビは長野県の大雪情報とオリンピックの放映だけ。山梨の情報は入ってこない。4日目になっても状況は変わらず。5日目の朝、高速道路が開いて出発。山梨に入る頃には大月インターかR139御坂が開通することを願って…。長野から山梨に入るとラジオからR139開通のニュースが、ラッキーこれで家に帰れる。結局18日午後3時



半、5日ぶりに忍野に無事に帰宅。途中、予想以上の風景にびっくりしながらも…



18日の富士吉田市内



18日の高速が一部開通してからは我が家の電話は鳴りきりでした。得意先の親会社では山梨がスゴイ事になっている



富士吉田市R139富士見バイパス

ること知らない。「荷物を早く持ってこい！」の騒ぎです。道路の除雪が

進んでいないので佐川急便も宅急便もほとんど全てのトラック便は運休している

状態での赤帽便はフル稼働でした。

「吉田や甲府は道路状況が悪く連日大渋滞しています。雪の持って行き場がなく二車線道路も一車線通行がやっと可能くらいです。相互交通のところは車1台分しか道が開いていないのでゆずりあい通行です。道路の真ん中も歩道も雪で埋め尽くされています。車道を車も人も一緒になって通行しているので危ないです。吉田の道は20センチ以上の厚雪でぼこぼこのコブができていますので通行するのもタイヘンです。」東京や横浜に納品に行っても一向に信じてもらえなかった現実がありました。

原 俊彦メンは・・・

今回の大雪、通常であれば週末は金曜日から日曜日に掛け河口湖で過ごすのが通例ですが、8日はたまたま「馬場のぼる展」の初日に当たった為、東京に居りました。東京でも降り方が異常だったので、何度か河口湖の管理事務所に電話をしましたが「積雪80センチ、これまで

経験した事の無い雪に殆どお手上げの状態」との事でした。週が明けて 2 月 14 日の金曜日、再び雪。特に午後からの雪の降り方は「これって本当に東京？」って疑いたくなる程の猛吹雪そして見事な冬景色。翌日、河口湖永住の志賀先生に電話で確認した所、何と 180 センチの積雪で完全に閉じ込められ一歩も外に出れる状況にないとの事。「管理事務所も除雪の設備を十分に備えていない為、恐らく一週間位は外出出来ないかもしれない。原さんこんな時来なくて良かったね。」と言われました。週末出かけなかった為、幸いにも記録的な大雪に閉じ込められず難を逃れる事が出来たのでした。

8 日の大雪から数えて 3 週間目の金曜日、第 2 例会に出席すべく管理事務所に連絡を取ると「別荘内の公道は除雪してあるので四駆でスタットレスなら何とか走れるけど、まだ 1 メーター近くの積雪があるので、公道から玄関まではとても歩ける状況ではなく家には入れないでしょう。」との返事。諦めて市内のホテルを予約・・・ところが例会前日の木曜日、望月さんから電話が有り、「息子 2 人と雪掻きに行くので、ホテルをキャンセルしたら？」との話。記録的な大雪に家が、木々が、小屋がどうなっているのか心配だったので、有難くご好意に甘える事にしました。当日、早めに東京を出て 3 時過ぎに別荘に到着すると、敷地内は予想を超える雪また雪・・・既に望月さんが息子さん 2 人と除雪の真っ最中。それにしても半端な積雪ではなく除雪車で道路際に押し寄せられた雪は未だに背丈ほどの高さがあり、先ずはそれを

除去して車庫を確保しなければならなかったのです。優に 2 時間を超える雪掻き作業の結果、玄関までの 30 数 m に見事な通路が開通しました。それにしても 3 人の見事なコンビと手際の良さに感服・・・3 週間ぶりの我が家は特に異常なく、真っ白な雪景色の中、久しぶりで快適な夜を過ごす事が出来ました。感謝です。

原 淑子メンは・・・

大雪のその後

2 月 8 日に大雪警報が出て東京は交通がマヒしましたが、(2 月 9 日は都知事選) 2 月 14 日から 15 日の雪は、山梨では「大大雪」でしたが、東京にとっても大雪でした。朝、窓から外を見ると、前回よりもはるかに多い雪の量で、歩く人、車の往来も少なく静かな東京でした。息子の部屋のベランダは、「雪だるま」と「カマクラ」が出来、孫たちが大喜びでカマクラに入って遊んでいました。私も小さな雪だるまを作りましたが、雪が降り積もって

単なる塊となってしまいました。ニュースで大雪の映像を見ていましたが、かなりの積雪の様でした。望月さんに電話して状況を伺ったり、志賀先生に別荘辺りの様子を伺いました。別荘辺りは、ほぼ 2 m 近く積もって、窓からは見えないとの事。軒下の有る玄関のドアから穴を掘る様に道を作って、まずは、蒔き小屋へ。食料は十二分に有るので、大丈夫との事。もし、我が家が行っていたら、多分、食料が足らなくなったと思いました。次回行く時は、多目に保存食を持って行く事にしました。2 月 28 日の第 2 例会に行

くのに、とてもとても家には入れないと思ひ、ビジネスホテルを予約した所、望月さんと息子さん二人の 3 人で、30m 以上の私道を、車を置く場所と、歩ける様に除雪をして下さいました。積もった時は 1,8m 位有ったのが、半分に減ったとの事ですが、それでも 80-90cm は有りました。その手際の良さに見入りました。お蔭で 3 月 4 日の第 1 例会も使える事が出来助かりました。しかし、4 日の夜から雪が降り始め、別荘へ戻る時はシャンシャンと降って来ました。翌日は、帰るので早めの朝 7 時過ぎに出ました。ギリギリ何とか車が出る事が出来ました。もう、20~30 分遅かったら、無理でした。*次回の冬が来る前に、金属製のシャベルを買う事を忘れないように！ブロックにして除雪！*

《 Y M C A だより 》

露木淳司

年末のスキーキャンプは 48 名、年始は 11 名が参加。天気にも恵まれ、みんな大満足の様子でした。新年度に向けて、つぼみぐる〜ぷやプライムタイムの新年度生の受付が始まっています。皆様、お知り合いやご親戚で該当年齢のお子様がおられましたらぜひご紹介ください。

ぶどうの木は開設後半年がたちました。じわじわと利用者増えつつありますが、運営が安定するまでは今しばらくの心労が必要です。引き続き皆様からのご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

《 これからの予定 》

- 3/4(火) 3 月第 1 例会：19 時～青少年センター「赤い屋根」志賀先生の卓話
- 3/8(土) 次期部長&次期クラブ会長研修会：10 時～東陽町センター
- 3/28(金) 3 月第 2 例会：20 時～ふれあいセンター
- 4/8(火) 4 月第 1 例会：19 時～青少年センター「赤い屋根」上文司宮司の卓話
- 4/12(土) 東京サンライズ山中ワーク
- 4/25(金) 4 月第 2 例会：20 時～ふれあいセンター
- 5/10(土) あずさ部評議会：東京サンライズホスト
- 5/13(火) 5 月第 1 例会：20 時～ふれあいセンター*日程が変更になっています。
- 5/23(金) 5 月第 2 例会：20 時～ふれあいセンター

つぶやき・・・2月の大雪はみんなそれぞれに大変でしたね。こうしてまたみんなで元気に集える事ができて良かったです。道路の雪もほとんど溶けて富士五湖もやっと春らしくなってきました～acco☆